

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

（令和4年6月6日 午後1時00分）

●議長（佐藤武雄） 会議を再開します。

通告の8、佐藤博一議員。

1、住民要望への対応

議席番号6番、佐藤博一議員。

◆6番（佐藤博一） 議席番号6、佐藤博一でございます。今日はシンプルな質問に終始したいなと思っております。件名として住民要望への町側の対応、そういったことをお聞きしたいなと。対応については、常々住民から要望が出て、そのプロセス、どう処置したか、またそれを住民が更に納得しているか、満足したか、そういったところまで聞ければなと思っております。まずこういった住民要望という言葉が今回挙げましたのは、おおよそ役場対町民の間には、かつては住民にはお上意識、そういったものがあつたのではないかと。それはもう最近完全に薄れてきております。やはり町長の掲げておられる協働、パートナーシップですね。当たり前のごとく行われて、今行政と住民との間ではうまくいっているところ、いっていないところ様々あるのかなと。住民といきなり役場という意味では、我々議員の立場はどうなるのであろうか、やはり我々も住民の皆様から様々な困りごと、何か要望事項等をお聞きしながら町へつないでいる次第ではございます。そういった中で、まずは町長にお伺いしたいのですが、最近、町政懇談会というのがかなり厳しくなったような状況ではあるんですけども、過去の分も踏まえながら町政懇談会、それから年度別により、役員さんの交代も代わってくるんですけども、区または区民から町に寄せられている様々な要望について、そういったものを長の立場としてどのように受け止めていらっしゃるか。まずは質問します。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 佐藤博一議員さんのご質問にお答えを申し上げさせていただきたいと思っております。今お話がございましたように私ども行政が執行する立場としては、区域内の住民の皆様方、様々な要望を頂戴するわけでございます。昨今ご案内のようにこのコロナ禍の中で、主催される住民の皆様方あるいは団体の皆様方、行政を含めてですね、集まりごとといいますか、なかなかしづらい状況が今までありました。これが2年ほど続いている訳でございますが、ここにきて県の感染レベルも下がって、若干ニュアンスが変わりましたけれども下がってきたところでございます。少し動きが出始めてきたなということで、それぞれ区長会なりですね、地域の行政懇談会が始まりはじめてきている状況でございます。行政的な立場からしますとそういう機会は私ども大変ありがたい機会でございます。お互いにそれぞれの状況について理解しあう場として、大変重

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

要な場ということと思っています。いろいろな中でご要望、団体あるいは地域の組組織、区等々を含めて、あるいは団体等々の皆様方からもご要望をいただくわけでございます。今の状況下の中で比較的文書をもって、ご要望をいただくということもこのコロナ禍の中で増えてきたということでもございまして、これについて私も当然目を通させていただいて、それぞれ文書をもってお答えといいますか、回答させていただいているというような状況でございます。それぞれ対面的に、本当にお互いに体温を感じながらお互いにやり取りをするのと若干ニュアンスというか、受ける感じは違うなと思いつつも、現状からすればそういう状況でやむを得ないやり取りかなと思っているところでございます。できれば生の声を、直接私自身もお聞きしながら行政運営を進めていきたいなと思っているところでございますが、現状とすればそういうことでございます。ご理解をお願いしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） はい、今町長が文書でいただいていると。これはコロナ禍に限ったことではなく、自分の組の仕事で言えば毎年文書でお出ししましたし、町から文書で回答をいただいていた。これは言葉でやり取りするよりも記録としては残るものでございます。それが様々なところで、長の立場で軽く口約束はしてないと思うのですが、やはり一番はひざをつき合わせてお話をした上で、お互い顔を見合わせて、やはり町の情勢を汲み取っていただければなと思っております。総務課長にお伺いしたいのですが、そういった様々な文書なり、要望ごとが総務課に直接各組織、組なり、区なりのところから、組織から上がってくるのか、または物によってはダイレクトに担当課に行くのか、その辺の流れというのを総務課長、教えてください。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） はい、実務的なお話ですので私の方でお答えさせていただきます。今議員がおっしゃられたとおり直接担当課に寄せられるものもございまして、そういう場合は直接担当課の方で調査、検討し、理事者から決裁を受ける中で回答させていただいております。また複数の課にまたがる場合には、総務課の庶務係で受付をさせていただきます。関係課に割振りをして、各課で調査、検討し、内容を集約したものを総務課の方で理事者から決裁を受ける中で回答するという状況であります。各課では十分に内容を検討して、必要であれば現地調査を行い、緊急性や重要性あるいは費用対効果、地域均衡などを考慮して、必要とされる事業について事業化を図っているという状況でございます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

◆6番（佐藤博一） はい、プロセスとしたら問題ない動きでやってらっしゃるかなと感じました。担当課に直接行ったものも理事者の方で確認されてるし、総務課に来たものも総務課で割振り、必要なものを割振りして、理想的な形でやられていると思います。町のホームページにご意見、ご提案が各課なり、係にあると思うのですが、町へのご意見また役場入口の町長への手紙のそういったものの取扱いは総務課でよろしいのですか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） はい、これもそれぞれでございまして、ホームページからのご質問、ご意見これは各係へ直接届きますので、課で回答を行っているところです。これも決裁を受ける中で回答しています。先ほどお話があった役場入口と各公共施設に町長の手紙というものを置いてあります。それは総務課のまちづくり企画係というところで月2回ほど回収させていただいて、そしてそれを見まして回答が必要なものと必要じゃないものに丸を付けるところがありまして、回答が必要なもの、必要でないものも全て町長が見ております。回答が必要な場合は、それは総務課とは限りませんので、やはり各課に回すなかで、各課に回答を書き添えていただいて、決裁を取るなかで回答している状況でございます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 各課の係によってどのくらいきているか、把握は中々難しいと思うのですけれども、年間町長の手紙はどのくらいきていますか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） 令和3年度でいいますと、19件ほどきています。そのうち回答を希望されたのは2件でございました。令和2年度でいいますと、18件、回答希望は1件でございます。そのような状況です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） それは、公開はしておりますか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） 本人に対しては回答しますが、特段ホームページ上で回答するという事はしておりません。

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） はい、わかりました。要望が大分本題に入っていくのですが、要望が多い課、あまり要望のない課、何となく普段役場に来ていて身をもって感じるところがあるんですが、総務課長から見て要望の多い課はどこですか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） やはり公共施設的な話が主になってきますので、建設水道課、産業観光課に対しての要望は多いというのは事実でございます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） はい、多いということはやはり町内での、先ほども同僚議員から除雪の話もありましたし、事業系の課が多いなというのは私の方でも予測しておりました。例えば住民福祉課とか、教育委員会、病院等。病院あたりですとちょっと次元が違うかなと思っているのですが、住民福祉課あたりですと、今やっぺらっしゃる一番はワクチンで大忙しになっていたりとか、福祉系のことで多々忙しい日々を送っていらっしゃると思いますけれど、住民福祉課長の方では、年間要望なり、相談なりの件数は多い方だと思いますか。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） 年間の集計は取りませんでしたけれども、最近ですと2件ほどございました。やはりワクチン接種、早く接種を進めていただきたいという要望と、それから窓口対応に関してのお叱りが1件ございましたが、課内で情報を共有しまして対策をしていきたいと思いますということでやってございます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 今いきなりちょっと住民福祉課長にお聞きしたのですが、住民福祉課は日々の要望のほかにも相談事の業務等がかなり多いところだと思うんですが、流利的にもその問題にはしっかりおっしやいましたけど、情報共有してもらえば十分いけるところだと思っています。教育委員会におかれましてはご要望とか、ご意見とかありますか。

●議長（佐藤武雄） 教育次長。

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

■教育次長（外谷場佳子）　そうですね、町長の手紙ではないのですが、教育委員会といたしましても窓口対応の不手際について苦言をいただいたり、あるいは今回ですね、一茶記念館の一茶まつりに関連してですね、そういったところでなぜやらないのかと、そういうご提案をいただいたり、個別の相談としてやはり保育園の保護者の方や学校の保護者の方から個別の相談はありますが、主にはそういったような状況であります。

●議長（佐藤武雄）　佐藤議員。

◆6番（佐藤博一）　教育行政についてもそんなに問題ない。何か今日、別に点検をやっているわけではないのですけれど、問題ないというふうに理解しました。産業観光課長にお聞きしますが、特にコロナ禍ということで観光行政等がやりにくいところではありますけれども、持ってらっしゃる農業関係について、これはもうコロナ関係なく、動いていかなければいけない話でございますので、農業者の方から要望ですね。その日々の相談は窓口業務で済まされてると思うのですが、何か政策につながっていくような要望は何かありますでしょうか。

●議長（佐藤武雄）　佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫）　農業関係、営農とかに関しましては、窓口でご相談等にいろいろ応じているところです。そのほか地区のご要望と申しますと、用水路、排水路関係の要望等が、特に春先等、かんがい期等に多く寄せられているような状況です。いろいろ施策等ご案内をするなかで、農業用施設になりますので受益者負担金の発生等もございますので、その辺の説明を重点的に折を見ながらやっていきたいと考えています。

●議長（佐藤武雄）　佐藤議員。

◆6番（佐藤博一）　農業者におかれましては、そういう受益者負担のお話をされながらも、実際ご納得いただいた上で事業が進むとか、ご要望いただいたものはご納得いただけているのが多いというふうに理解していいですか。

●議長（佐藤武雄）　佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫）　なるべく皆さんの地元負担金といいますか、受益者負担は少ないほうがいいというのがございますので、事業の性質であるとか、緊急性とか、そういうことを加味しながら、合意をいただくなかで事業を進めているところです。以上です。

●議長（佐藤武雄）　佐藤議員。

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

◆6番（佐藤博一） もう一度産業観光課長にお伺いしたいのですが、観光事業者、また商工業者そういった皆様から、例えばこれからプレミアム商品券とか付く訳ですけど、新たな要望的なものとかはきておりますか。これからアフターコロナを見据えた上という事で、要望は来ておりますか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 新たにというのは特にないかと思うのですが、昨年も行っている事業でして、本年も行う予定の事業と、宿泊の支援の話であるとかですね、そういうものは早めにやっていただきたいというご要望をいただいているところで、そのように対応しております。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） それではお待たせしました。建設水道課長にお伺いしたいのですが、ご要望が非常に多いところとは思っております。その要望についてもかなり苦情なり、ご意見をいただいている部署であると思います。午前中の除雪関連等のところでおよそ聞けたかと思しますので、要望という形で建設水道課の方にきているものは、何かここ1年位でありますか。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） その関係でございますけれども、要望は多岐にわたるわけでございますけれども、一般的に要望があるものにつきましては、やはり舗装ですとか、側溝、グレーチング破損等々によります修繕をお願いしたいというのが一般にあるものでございます。それからですね、ここ数年の間多いなあと思いますものにつきましては、鳥居川の浚渫をやっていただきたいというような要望が多く出ておまして、これにつきましては各管理者といえますか、県になりますが進達するとともに、現地の担当者というのですか、担当に見えていただいて、ここという場所を明示し、予算の中でお願いできませんかという話の中で進めているのが現状であります。国道関係についても同様で、そちらの担当の方に立ち会っていただくなかで、この部分というふうに申し上げることによって実際にやっていただく部分が早まるという現実もありますので、そのような対応をしてくいております。それから道路沿いの関係で、草刈りをしてもらいたいというのが、このところ頻繁に出てきているのですけれども、やはり今、建設系の職員がそれに対して対応しておりますので、町道は本当に長い距離ですので、全てというのはなかなかそういう状態の中では難しいので、カーブで見通しがきかないところですか、通学路とか、そういったところを集中的に草刈り等々して、安全に配慮するような状況に進めています。それから先ほどと重複するのですが、やはり道路の舗装の関係につきま

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

しては、町としても全体的にきれいにしていけたらいいなという話の中で、当然財源を伴う訳でございますので、それにつきましては、舗装長寿命化修繕計画というのがありまして、5年間にわたってどういうふうに舗装をしていくか、計画的に行っていくためのものなのですが、それに基づきまして舗装の方も主要な幹線道路等々を含める中で進めております。主に舗装の修繕ですとか、国道、県道に絡む全ての事案、それから草刈り等々が主になる地域からの要望が多いところでございます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 国道、県道なり、上があるところは一緒になってやっていかななくてはいけないので、それは野尻湖の古海線の県代行の工事だと思うのですが、国道なりは普段国道を見て本当にやるなと思っていますし、一番は道路計画、先ほどの舗装の計画等もこれ我々議決しているわけございまして、日頃住民の方にお会いしても舗装に関しましては、今のところ私のところへも苦情は聞いておりません。また修繕に関してもパッチングとかそういったものできちんとやっているなど。先ほど鳥居川の浚渫に関しては、ちょうど私のところの古間駅前方面は終わったと、これが昨日ですかね、1000年に一度という水害のハザードマップがこれから見れると、そういった意味でこれちょっと話がずれるかも知れませんが、総務課長にお聞きしたいのですが、その1000年に一度のハザードマップ、そういったものは我々ネットでいつでも知ることができるんですけども、プリントなりとか印刷そういったもので住民の方に示すということは、住民にいつ頃お示しできますか。用意ないかと思うのですが、おおよそ情報を持っていましたらお願いします。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） 県の方から直接、総務課にくるわけではなく、建設水道課等々に来て、データをいただいてようやく皆さんにお配りしています防災マップ、その中にそういうものが入っている。それをいただいた段階で改正していくこととなります。その場合ですと、やはり予算も必要になりますので、そういう措置をしてからになります。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 今、総務課長いきなりで申し訳ございませんでした。そういった1000年に一度の水害は、かなり鳥居川水系でも起こり得るなと考えております。その辺わかりましたら建設水道課長、総務課長ともに情報をよろしくお願ひしたいと思います。先ほど草刈り等で職員が足りないとか、修繕とか職員でやっているとおっしゃったのですけれども、建設水道課長、そういうことは外注とかしないのですか。職員が全部やってるのですか。

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） 業者に委託等々してやっている部分も多くあります。ただですね、職員としてただ丸投げという中で進めるのは好ましいことではありませんので、自分たちができるところにつきましては、積極的に言うということと、それからボランティアの方々にお力をお借りして草刈り等々を行うなかで進めています。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） その辺は特に、また観光課長と連携してやっていただきたいと思うのですが、観光地でございますから県外から来られた方から結構耳にするのが、道路際の草を刈ってないねというのが多いです。これから特に6月の梅雨を過ぎれば、どっとお客さんが見えて、昨日あたり野尻湖にお見えになっていました。そういう意味で景観を良くするというのを他の課とリンクしながらお考え下さい。その辺はよろしくお願ひしたいと思ひます。今度、事例なのですけれども、昨年度完成した菅川棧橋ですよね、これは先月私も見に行つて周りを見てきました。区長さんにご案内いただきながら、物としたら、見た限りでは出来は良くできているなと思ひました。建設水道課で扱うものとするれば、物を造つて指示どおり、後は住民の皆さんからの要望をお聞きしながら、それを理事者にどう上げていくかというところが、事務方の、課長のお立場だと思ひます。気になったのは、新しいものを造つたのはいいのだけれど、前の古いものがなんか壊れて、壊した、住民からは勝手に壊したという言い方をしているのですが、その辺が住民の方にどう説明しながら、どういうやり取りがあつて、壊したというところとちょっと言葉があれなのですけれども、撤去したかと。一番気になったのが県道からそこに以前あつた建物の法面に関わつて道路的なものの斜面が見えるのですが、何も線もガードも何もしてないのですが、知らない方が夜走つて観光客が水穴方面から来て斜めに通つていくと、野尻湖に入りちゃうんじゃないかなと、その辺の何か柵はやってないのでしょうか。それと住民の方との行き違いか、壊すことについての住民との行き違いかなと感じるのですが、これにご説明はありますか。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） ご質問の件、2件あるかと思ひますけれども、一つ目の県道からの部分につきましては、前に棧橋のあつた部分につきましては、最終的にその部分につきましては、管理が県の管理となりますので、こちらの方で直接物を何か造つてガードすることはできませんので、必要に応じて県の方に要望してガードレールなり、何なりをつけるという方法があるかと思ひますので、その辺のところはちょっと考えさせていただきたいと思ひます。それからですね、貨物棧橋としてあつた部分を撤去したということなのですけれども、こちらの方の連絡がうまくいってなくてご迷惑をかけて、

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

勝手に壊したというような形の中でとらえてしまったというのがございます。その辺のところにつきましては申し訳なかったと思います。今後はその辺のところにつきましては、工事等々に支障がないように進めていきたいと思っておりますので、お願いしたいと思っております。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 壊し方だと思うのですよ。住民の方に、やはり区長さんなりに、ご説明申し上げてこれからやりますよと言うくらい必要だったと思います。というのは、旧栈橋の横に地元の方の所有物件があります、湖の上に建っている。あれは県からも承認、了解を取っているようなことをお聞きしましたので、気になったのが、小耳にはさんだのですが、新たな栈橋を造ることと前の栈橋をなくしてしまうことが、条例上何か不具合があったのか、同時に2つのものがあっては、条例で成り立たないというそういうことがあったのですか。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） 栈橋の関係でございますけれども、当初あった旧栈橋の関係ですが、それとですね新しく造った栈橋、2つのものが同時に存在するという事は栈橋の性質上あり得ないので、新たなものを造った段階で古いものについては撤去するというそういった条件がありますので、その中で新たなものを造ったということで撤去させていただいたそういった経過であります。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） これが同じ地番ならば何となく理解できるのですが、違う地番でそれができる話なのですか。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） 条例改正におきまして旧栈橋の方をなくしまして、新しい栈橋の方の地番で条例制定しておりますので、地番が変わったとしてもそれについては問題ございません。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） はい、わかりました。後ですね、先般現地を見てきまして、元々地元の方の請願から始まったこととございまして、一番の趣旨は栈橋を造ることによって

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

菅川地区の3方向の道路がもし土砂崩れで逃げ道がなくなった場合、じゃあ船で逃げるか、その船で逃げるにあたっては、過去にはあそこは航路になっていた。菅川と野尻の町を結んでいたから船を着けて逃げるのに使うかということと、その次には観光に利する施設につなげていくという請願だったと思うのですが、ここまで至るに当初から10年までにはいってないと思うのですが、時間がボーリング等でかかっていたのですが、総務課で元々やってたものが、昨年度からですか、建設水道課に移管された。その辺我々の議会でも聞いた気がするのですけれど、もう一度総務課長、その辺移管した経緯なり、教えてもらえますか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） 課の仕事の割振りでございますので、こういう公共施設を造る場合は、総務課で栈橋を造るということ自体あまりなじまない。そういうものは元々道路の延長という考えでございますので、建設水道課の方へ事務移管させていただいたということでございます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 請願に基づいて町側と地元の皆さんとですね、かなりな回数で結構懇談会なり、用件を聞く会なり、もたれたと思うのですが、全ての、例えば先日23日にひとつ行われております。そこへは町長は出ていないと聞いたのですが、町長は過去に地元に対しまして結構足を運びましたか。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 結構運んだかというのは微妙なお言葉かなと思うのですが、必要に応じてご要請もあれば伺いましたし、これからも必要ということであれば積極的に参加するという立場です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 実際ですね、栈橋だけ今ポツンと造って、あれでおしまいとなれば非常に私も現地を見てきて、取付道路なり、実際は周辺にあるトイレも小さいし、隣にあるプール栈橋の方との連絡通路とか、現実問題栈橋につながる浮き栈橋はどうなるのかとか、かなりお金のかかる話になってきそうなのですが、実際町長として今回取壊しましたけれど、菅川栈橋周辺の整備と、また観光とも結び付けたようなランドデザインなり、これから先のお考え、これは町長、前の町長からも話を聞いていると思うのですけれども、今町長として菅川地区の周辺整備をどのようにお考えですか。

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 前段のまずご質問にお答えしたい。お答えといえますか話をさせていただきたいと思います。今造ったいわゆる固定部分の栈橋、これをもって完成というふうには私は捉えておりません。従って野尻湖はやはり性質上、水位の変動があるわけですから、その先における利用状況可能な浮き栈橋、どういう形になるか、今検討を進めてもらっているのですが、そういうことをまずやっていかななくてはならないと思っています。それからひとつはその後のグランドデザイン的なことのご質問ですが、今の状況ですと全く白紙の状況であります。まずはやはり地元の皆さん、過去の経緯からしてもその栈橋を回復するということが、第一義的な行政に課せられた課題かなと思っていますので、そのことをまず優先的にさせていただくということです。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 実際ですね、この信濃町どこの地区でも高齢化が進んでおります。現に菅川においてもかなり高齢化が進んでいると理解しているのですが、これは時間がそんなにある話でもないと思います。とっておおよそ何かを町側に作ってくださいという、必ず財源の話になってきます、お金。これから今直近でしているのは病院であります。まずそちらの方について当たり前のごとくいっているわけですが、そのほか道路修繕、道路改良をやっているとはいけない面もありますし、今必要最小限の造り方として固定栈橋まで何とかこぎつけたのかなと。であればやはり地元の住民を避難する場合の最小限、船を持ってきて乗せる場合の通常の高浮き栈橋ですと、かなり金額が張ると聞いているのですが、建設水道課長、その辺は町長の方から何か研究せよという指示は出てるのですか。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） ただいま固定栈橋までは一応できている状況でございます。あとですね、現状の固定栈橋について、この間5月23日も説明会、地元に行ってきたわけですが、現状の固定栈橋の形状については地元から大変不便であるということで、すぐにでも着手することを強く要望されているのが事実でございます。ですので、その点を踏まえまして菅川区とよく調整する中で、地元の皆様にも利便性のある施設として機能するように今後検討していきたいと思っております。以上です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 今ある固定栈橋のその利便性なり、やはり地元の方とよく話を進めていくのは、事務方の建設水道課長の仕事だと思います。それを長に上げて、物ができ

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

るか、町長の判断をいただきたいと思ひますし、先ほどのグランドデザインについては、全く白紙ですとおっしゃいました。ということはこれからまだまだ、先ほど地元にあまり足を運んでいなさそうですので、地元から要請があれば町長は菅川に、まあいろんなところからも多分要請があるでしょうし、まだまだこのコロナの状況を乗り切ったわけではないです。そういうところで要請があれば、まだ耳を傾けるだけのことはできますでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 私はそのことを否定はする立場ではありません。従ってどういう思いを持っておられるかについては、お聞きするのは十分、必要ならそういうことを含めて対応させていただきたい。ただ中身の問題としてどういう問題が出てくるのか、そのことを含めてですね、町として可能なのかどうなのか、そのことを含めて多分判断のひとつになってくるのではないかなと。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） これはまあ菅川に限ったことではないのですけれども、まずは地元の方から要望なり、ご意見を伺うのは事務方の各課長さんたちだと思いますし、そこでどのくらいお金がかかる、費用計算するのも課長さんたちで、後はどれだけのものを理事者に上げてご判断いただくと、そういったことで十分地元の方の意見を聞いていただければ、地元の人も地元の人で、言ったからじゃあすぐできるという話ではない時代にきていると思ひます。やはり精査しなければいけないだろうし、順番もあるだろうし、緊急性もあるだろうし、先ほど町長おっしゃったように緊急のものはすぐやると、そういったものもありますし、やはり役場でできることは聞くことと、我々特に住民ができないのは計画立案とお金の段取りと執行はできない。これはもう役場がやれることなので、その辺は各課長さん方をお願いなのですけれど、バランスよく調整を取って住民の方のご要望を聞いた上で、住民も住民で、私の地元なんかも毎年同じ要望を出してはいますけれども、できないものはできないなり、ストレートに言ってこないんですが、地元は地元なりに考えながら、これはもうそろそろ出すのはやめようということも、あまり無茶なことを言うのはやめようかと、そういうこともこれは諦めではないですよ。そういったこともありますので、住民は住民で、自助というところが大変求められておりますし、町は町で要望を聞いていただいた上で、先ほどの白紙とおっしゃったのはびっくりしました。その辺は我々をびっくりさせないように、また町長も事務方とよく話し合いをしながら、情報収集は建設水道課長なりが情報を集めてもらって、その辺は伺っていただければと思ひまして、私の一般質問を終わります。

●議長（佐藤武雄） 以上で佐藤博一議員の一般質問を終わります。

令和4年第420回信濃町議会定例会6月会議会議録（3日目）

この際申し上げます。1時55分まで休憩といたします。

（終了 午後1時42分）